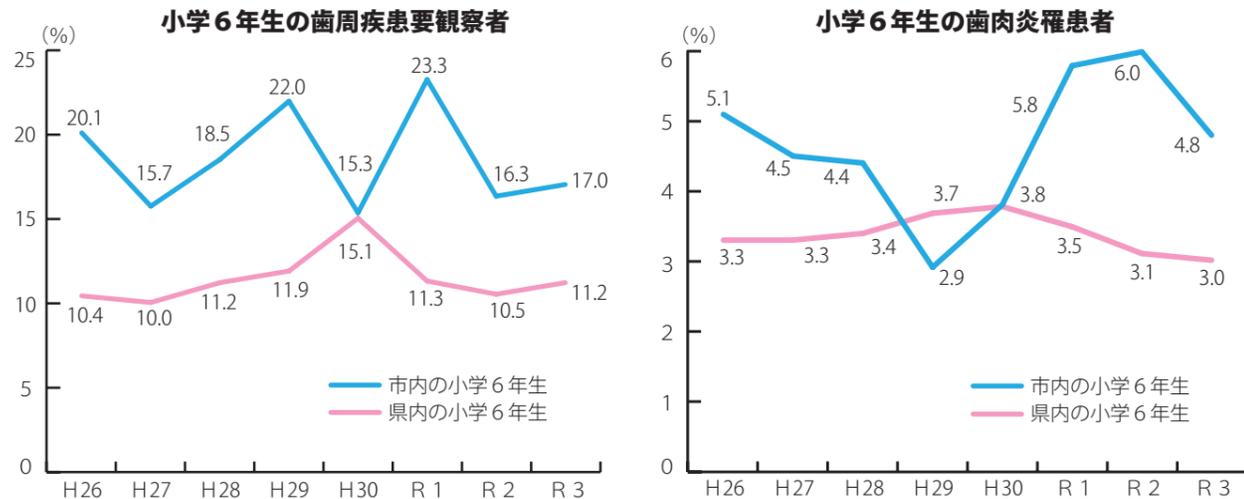


虫歯・歯肉炎対策の取り組み

「子ども自身が歯磨き習慣を身に付け、虫歯・歯肉炎を予防できること」を目標に、授業を行いました。

歯肉炎罹患率および歯周疾患要観察者の児童・生徒が多いため、小中学校に市の歯科衛生士が出向き、正しい知識・歯磨き習慣が身に付くよう健康教育を実施しました。



【出典】令和3年度静岡県学校歯科健康診断結果、令和3年度牧之原市学校歯科健康診断結果

授業内容

- ①歯肉炎を知ろう（歯磨きのポイント、歯ブラシの使い方）
- ②歯垢染色剤にて染め出し（希望学校のみ）
- ③まとめ（アンケート記入）

牧之原中（全体）、牧之原小（4年生）、菅山小（4年生）、川崎小（4年生）、坂部小（4年生）で実施しました



●子どもたちの感想

歯の場所によって歯ブラシの使い方を分けることが知った。

歯が赤くなったので、しっかり磨く！

これからは20回しっかり磨こうと思った。

歯肉炎という病気を知ることができた。



●養護教諭の感想

普段あまり意識することのない歯肉に注目し、歯磨きの大切さや歯ブラシの効果的な当て方などについて学べた。子どもたちが自分の歯と向き合い実践してみようと思える時間となった。

給食後に歯磨きをする児童が増えた。



鏡を確認しながら歯磨きをしている姿が見られた。

子どもたちの健康増進

～学校と連携した取り組み～



市では令和4年度から学校と連携し、市の保健師や歯科衛生士が小中学校へ出向き、健康の授業をしています。子どもたちが生活習慣病を自分事として捉え、自分の体は自分で守り良い生活習慣に変えることができるように伝えています。

令和4年度の取り組みを紹介します。令和5年度以降も継続していく予定です。

問い合わせ 健康推進課 野澤園子 ☎0024

生活習慣病予防の取り組み

「子どもの頃から生活習慣病の正しい知識を持ち、自ら望ましい行動を取ることを」を目標に、授業を行いました。養護教諭による年齢に適した的確な教育方法に、保健師が身近な病態の情報や病気の怖さの説明を加えることで、より記憶に残りやすい効果的な健康教育を実施しました。

授業内容

- ①自己紹介、保健師の仕事紹介
- ②生活習慣病ってなんだろう（生活習慣病の種類、市の現状など）
- ③自分の生活を振り返ろう
- ④血管を見てみよう
- ⑤病気にならないために自分ができること
- ⑥まとめ（アンケート記入）

菅山小（6年生）、萩間小（6年生）、牧之原小（5年生）で実施しました



生活習慣病ってなんだろう

生活習慣病	特徴
がん	がん細胞が増えて、体の器官の働きが悪くなる
心臓病（心筋梗塞など）	心臓の血管がせまくなったり、つまったりする
糖尿病	血液中の糖の量が多くなる
脳卒中（脳出血など）	脳の血管がつまったり、破れたりする
高血圧病	血圧が高くなる
虫歯、歯周病	

授業資料の例

*生活行動とは関係なく発症する場合があります。

●子どもたちの感想

今も将来も生活習慣病になりたくない。

生活習慣病がひどくなって、好きなことがやれなくなるのは嫌なので、気を付けようと思った。

自分がどれだけ生活リズムが狂っているかが分かった。

自分の体は自分で守らないと！

生活習慣病は子どもの時から気をつけないといけないことが分かった。



もっと早く寝て、運動をたくさんする！

●養護教諭の感想

学校でも保健指導で伝えていますが、専門の人から伝えていただくことで児童がさらに自分事として受け止めてくれたように思った。

